

令和元年12月13日

意見発表

谷口委員

公明党県議団として意見発表を行います。

最近の台風の大型化などを考えると、知事が2050年脱炭素社会を表明したことについては一定の理解をしますが、問題は、その目標の達成に向けて具体的にどう対策を加速化させるのかが見えないことです。当然、現在の、2030年度に2013年度比で27%の削減を目指すとの目標も引き上げなければならないと考えます。また、現在の県の温暖化対策では、2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指していますが、そもそも基準年が示されていないため、いつのどのレベルから80%削減するのか全くわかりません。今回、知事が2050年について、脱炭素社会を打ち出し、目標を引き上げたわけですから、早急に計画を改定し、2050年脱炭素社会を明記するよう求めます。その際、2030年度の目標も引き上げなければ整合性がとれません。そして、何よりも、2030年度、さらに、2050年に向けて具体的な新たな取り組みのロードマップを示さなければ、花火を打ち上げただけに終わってしまいますので、知事が述べられたように全力で取り組むことを強く要望いたします。

以上、意見、要望を申し上げましたが、当常任委員会に託された諸議案に賛成し、意見発表を終わります。